

放射線被ばくに関する基礎知識：第2報

平成 23 年 3 月 17 日(木)11:00

Q 関東一帯でも放射線のレベルが高くなっていると報道で聞きました。大丈夫でしょうか？

A. 放射線のレベルが通常の 10 倍あるいは 100 倍などと聞くと、たいへん高い線量のように感じられると思いますが、実際には健康に影響のないレベルです。

15日午前9時～午後5時に東京と栃木、群馬、埼玉、千葉、神奈川、山梨、静岡の1都7県で計測された放射線レベルでは最大で、1時間1マイクロシーベルトと報告されています。これは、例えこの放射線レベルで1年間生活したとしても、合計の放射線量はおよそCT検査1回分程度と、健康に影響のないレベルです。また、実際には、ピーク時の値がずっと続くようなことはありません。

Q 被ばくの検査をしてほしいのですが、できますか？

A 放医研では、一昨日、昨日と東京電力や付近で作業をしていた方の被ばくの検査を行いました。これまで除染が必要となるような被ばくをしていた方は一人もいらっしゃいませんでした。

こうしたことから、屋内待避や避難という指示の対象外の方には被ばく検査の必要がないと考えております。

なお現在、避難所では被ばくの検査を行っていますが、これは健康に影響がないことを実際に確認して、安心して頂くことを第1の目的としております。

Q 除染とはどのようなことを行うのですか？ 家でもできますか？

A. お風呂に入る、髪や体を洗う、衣服を洗濯することです。よって普通に生活していても日常的に除染を行っているということになります。

Q 私は妊婦です。放射線の影響はありませんか？

A. 妊婦の方におかれましても、他のみなさま方と同じ対応で問題ありません。放射線量として、100ミリシーベルト以下^{*}では胎児への影響(奇形、精神遅滞など)は起こらないと考えられています。また、胎児へのその他の影響(小児期や成人期のがん)については、生活習慣など放射線以外のものを原因として生じる危険性と比べて、現在の状況で住民の方が受ける可能性のある少量の放射線から予測される危険性は

遥かに小さいと考えられるため、過度に心配する必要はありません。

また、安定ヨウ素剤は、薬の一種です。アレルギーなど副作用を起こす可能性がありますので、服用には注意が必要です。妊娠中の方はご自分の判断で、ヨウ素剤を飲んだり、ヨウ素を含むうがい薬や消毒薬などを飲んだりなさらないようにして下さい。

その他、妊婦さんの注意点は、厚生労働省のホームページをご参考ください。

「5. 妊婦さん、産後まもないお母さんと乳幼児の健康のために」

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r98520000014uzs-img/2r98520000014v1g.pdf>

※正しくは胎児被ばく線量が 100 ミリグレイ以下と表現すべきところですが、全身均一被ばくと仮定して、ニュースなどで用いられているシーベルトを用いた説明とさせていただきます。